開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会だより

冬 Winter

itami February.8, 2024 vol. 250

CONTENTS

vol.250の主な内容

P.2~5… 一般質問
P.6 …… 議案審査
P.7 …… 議決結果
P.8 …… 人事
委員会の視察・要望報告
市議会からのお知らせ
会議の予定

伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。
（通信費は利用者負担になります。）



昨年度の全国高等学校なぎなた選抜大会

一般質問

令和5年第5回定例会（12月1日～22日）では、24人の議員から市政全般にわたり、さまざまな質問がありました。その一部を紹介します。
なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 検索
市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム（2月中旬に掲載予定）
②インターネット議会中継（ライブ・録画）
③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

今後の医療DXを見据えた統合新病院のインフラ整備



鈴木　隆広 議員

問　統合新病院整備事業において、開院後の医療DXを見据えた施設整備やシステムの導入検討が行われているのかを伺う。

答　医療情報ネットワークには高速化・大容量化が求められるとともに、今までの病院になかった機器の導入には、統合新病院が必要な施設要件を満たしていく必要がある。施設整備では、ロボットによる搬送を想定した対策を講じ、情報インフラ整備では、医療DXに係る機器増設に備えてスペースを確保し、開院後の新規システムや医療機器導入に対して柔軟な対応が可能となる施設を目指す。なお、これらの費用等は、整備工事費に含まれている。

公園内の禁止行為



鈴木　久美子 議員

問　市内94か所の街区公園に設置されている公園内での禁止行為を記した看板の設置枚数と記載内容、及び迷惑になるボール遊び禁止の意図を伺う。

答　街区公園では、危険な行為や人の迷惑になる行為を禁止しており、自治会等の要望を受け、迷惑になるボール遊び・野球・サッカー等の禁止、フェンスにボールを当てない注意喚起、犬のふんの持ち帰り、花火、不法投棄、公園内禁煙、ごみの持ち帰り、早朝・夜間の静粛など様々な注意看板を700枚程度設置している。また、ボール遊び全てを禁止しておらず、他の利用者や近隣住民の迷惑にならない範囲で、やわらかいボールでの遊びは禁止していない。

教職員の障がい者雇用



泊　照彦 議員

問　教職員の障がい者雇用の取組と、採用に関する課題について伺う。

答　障がい者雇用は、インクルーシブ教育の視点からの効果や、障がいのある児童生徒等のロールモデルとなるため積極的に進めるべきだが、実雇用率は法定雇用率を大きく下回っている。義務教育諸学校における教職員採用の権限は県教育委員会にあるため、市教育委員会では、県教育委員会の補助教員配置事業を活用し、障害者手帳所持者を複数名採用している。また、勤務に当たっての合理的配慮や環境整備にも取り組んでいる。今後も県教育委員会と課題の共有を行い、連携を図りながら取り組む。

介護人材の確保に向けて ～介護職フェアの開催～

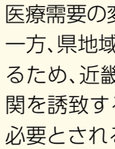


前田　伸一郎 議員

問　介護人材確保策として、より多くの方々が介護職に興味を持ち、就職先に市内事業所を選んでもらえるような介護職フェアの開催を検討することへの見解は。

答　就労目的のセミナーとは別に介護の仕事内容を知ってもらうことや、興味を持っている方々により関心を深めてもらうことも、介護人材の確保に繋がるものと考えている。各介護事業所の特徴を紹介するために、写真や映像等を用いて知ってもらえる機会とする介護職フェアの開催は、市内各介護事業所の主体的な参加が必要なことから、事業の有効性や費用対効果などについて、事業所の方々から広く意見を伺いたいと考えている。

民生委員・児童委員の業務量の適正化

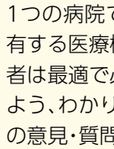


齊藤　真治 議員

問　民生委員・児童委員の成り手不足の要因の一つに業務量が過大であることが考えられるが、適正な業務量について伺う。

答　民生委員・児童委員の職務は民生委員法に規定されており、その役割や活動は多岐にわたっているが、定量的な規定はない。市としても、業務に関する負担軽減の必要性を認識しており、市からの委託等による個別業務では、意見・要望を聞き実施方法の見直し等を行っている。また、厚生労働省に対し、業務の負担感の抑制や円滑な活動が実施できるような制度見直しを要望するなど、業務の合理化・適正化等負担軽減に向けて取り組んでいる。

ライドシェア等の移動サービスの導入

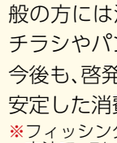


新内　善雄 議員

問　交通弱者や運転者不足への対策として、地域住民が協力して行うライドシェアやコミュニティバス等の新しい移動サービスを導入することに対する市の見解は。

答　本市は、市営バスなどにより、コンパクトな市域を効率的にカバーしており、基本的に交通困難地域はないと考えているため、直ちに新たな移動サービスを導入する状況ではない。しかし、本年4月に時間外労働の上限の猶予期間が終了する、いわゆる2024年問題等を踏まえ、今後の公共交通の維持・確保に努めるとともに、ライドシェアやAIオンデマンドバス等の新たな移動サービスに関する国での議論を注視しながら調査研究を行っていく。

重要土地等調査法に基づく注視区域となることの影響

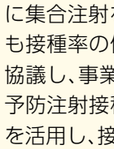


服部　好廣 議員

問　自衛隊周辺が重要土地等調査法の注視区域に指定されることによる市民の安全・財産への影響は。

答　同法は、防衛関係施設等重要施設の機能を阻害する土地等の利用を防止するため注視区域等を指定等し、国民生活の基盤の維持や安全保障への寄与等を目的としている。国から伊丹駐屯地及び千僧駐屯地の周辺を注視区域に指定することを検討しているとの情報があり、指定された場合、注視区域内にある土地等で機能阻害行為が確認されると、当該行為をやめるよう勧告・命令する等の措置を行うものである。国は、指定により一般的な生活や事業活動に影響はないとしており、本市も同様の認識である。

電子図書館の導入とことば蔵での参画と協働



大江　広人 議員

問　①子どもの読書の機会を増やすため、インターネットを通じて電子書籍を借りて読む電子図書館導入の取組は。②まちづくりを進める上で重要なテーマである市民参画と協働に関し、ことば蔵で実施する取組内容は。

答　①教育DXの一環として、子どもの読書推進に焦点を当てた電子図書館の導入を検討している。②ことば蔵での市民企画事業では交流フロア会議を開催し、市民が主体となってイベントを企画・開催している。今後、同会議のPRをさらに進め、一人でも多くの市民に参画いただき、交流により、異なる価値観・視点から、さらに多様な市民企画の事業を生み出せるように取り組んでいく。

近畿中央病院跡地への民間医療機関誘致の目的



篠原　光宏 議員

問　市が、近畿中央病院跡地に、回復期機能を有する民間医療機関の誘致を積極的に取り組む目的は。

答　国は、医療機関の役割分担を明確化するとともに、かかりつけ機能を持つ医療機関を中心に医療・介護の水平連携の推進を検討しているため、統合新病院で高度急性期機能を、民間医療機関で回復期・慢性期機能を提供し、医療需要の変化に対応可能な体制整備を進める必要がある。一方、県地域医療構想で、回復期病床の不足が想定されているため、近畿中央病院跡地に回復期機能を持つ民間医療機関を誘致することで、機能分化・連携強化を促進し、地域に必要とされる医療を安定的に提供できる体制を目指す。

近畿中央病院跡地活用に関する住民説明会



大津留　求 議員

問　2月18日に予定されている近畿中央病院跡地活用に関する住民説明会の運営について伺う。

答　説明会は、公立学校共済組合近畿中央病院主催で開催する予定であり、参加者を市民に限定することなく、幅広い参加が可能な体制を考えている。市からは、回復期病院誘致の基本的な考え方について、今までのように1つの病院で全ての医療を提供するのではなく、各機能を有する医療機関が、得意分野での診療を提供することで、患者は最適で必要な治療を受診できることを理解いただけるよう、わかりやすく丁寧な説明に努めるとともに、住民からの意見・質問に対して、丁寧な回答に努めていく。

フィッシング詐欺※への対処法と市の取組



永松　敏彦 議員

問　フィッシング詐欺への対処法と、消費生活センターでの取組について伺う。

答　フィッシング詐欺に遭わないように、疑問に思って立ち止まることが第一である。消費生活センターでは、事前の理解が大切であると考え、年齢層に応じた啓発活動を行っている。若年層には学校での出前講座の実施、一般の方には消費生活講座の開催、高齢者には講座に加えてチラシやパンフレットの配布など、注意喚起に努めている。今後も、啓発と消費者相談を併せて実施することで、市民が安定した消費生活を過ごせるよう努める。

※フィッシング詐欺…送信者を詐称した電子メールを送り付ける等の方法で、クレジットカード番号等の重要な情報を盗み出す行為

狂犬病予防注射の集合注射廃止



川井田　清香 議員

問　令和6年度から予定されている狂犬病予防注射の集合注射を廃止する経緯と、今後の接種率の維持・向上への取組について伺う。

答　平成12年度の事業開始当初は4割程度あった集合注射の利用率が、令和元年度は1割未満にとどまったことや、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために集合注射を中止した令和2年度以降の接種率を比較しても接種率の低下が見られないことから、伊丹市獣医師会と協議し、事業廃止に賛同いただいた。廃止後は、所有者への予防注射接種勧奨はがきやホームページでの案内、SNS等を活用し、接種率の維持・向上を図っていく。

一般質問



粗大ごみのインターネット受付

北原　速男 議員

問　粗大ごみ収集のインターネット申込み制度導入に向けて、進捗状況と導入時期、及び収集当日の立会いについて伺う。

答　インターネット受付に向けたシステム構築や電話申込みを行うコールセンター業務を含めた家庭ごみ収集運搬等の委託契約と、インターネット決済を可能とするシステム導入に向けた委託契約、次年度の予算化に向けた事務を進めており、本年4月からの導入を目途としている。また、収集当日の立会いは、インターネットによる申込みと同時に、インターネットを通じたキャッシュレス決済で手数料を納入すれば、不要となる。



学習用タブレット端末の持ち帰りによるトラブル

岸田　真佐人 議員

問　児童生徒の学習用タブレット端末の持ち帰りについて、家庭での不適切な使用への対応策は。

答　市では、有害なサイトにアクセスできないようフィルタリングソフトを導入し、一括管理している。なお、ボイスチャットのように同ソフトに検知されずトラブルの原因となるサイトやアプリケーション等は、学校からの要望に応じ、その都度必要な対応を実施している。また、深夜の動画視聴は、児童生徒の健康や生活リズムへの影響も懸念されるため、インターネット利用の制限方法を研究していく。今後も、タブレット端末の適切な利用に関するルールを情報発信するとともに、管理について研究を進める。



統合新病院での医療DXとAIホスピタル※導入

加柴　扶美 議員

問　統合再編後の市立伊丹病院における医療DXとAIホスピタル導入に向けた検討状況を伺う。

答　現時点で、統合新病院において明確に導入を決定している医療DXやAIを用いたシステムはない。導入により患者サービスの向上や業務負担軽減につなげることができるかなど必要な検証を重ね、適切な導入時期の検討を慎重に進めていく必要がある。開院後も引き続き医療DXやAIシステム導入の検討を継続し、安全で質の高い医療を効率よく提供できる体制の構築を目指し、先進事例や国の動向等も注視しながら必要な検討を進める。

※AIホスピタル…AI技術を活用した医療現場での負担軽減につながる診断補助やコミュニケーション支援等



近畿中央病院跡地への民間医療機関の誘致

高塚　伴子 議員

問　市長は、令和3年の市長選挙において、近畿中央病院跡地に回復期病院を誘致することを公約に掲げられたが、現時点での実現可能性について見解を伺う。

答　地域完結型の医療体制の充実を図るため、昨年1月に公立学校共済組合の理事長と直接お話をし、近畿中央病院跡地を譲渡して回復期病床を中心とした医療機関を誘致することについて、基本的には了解いただいているものと理解している。なお、公立学校共済組合も公的な機関であるため、現時点で決定したわけではないが、民間医療機関の誘致については、一歩一歩確実に前に進んでおり、市長公約を守るよう頑張りたい。



難病の方への就労支援

杉　一 議員

問　障害者雇用促進事業と合わせて、難病の方の雇用促進を行うべきと考えるが、取組や見解を伺う。

答　雇用する側の企業を対象とした取組として、障害者雇用奨励金制度がある。本制度は、令和5年10月1日より障害者総合支援法に基づく特殊の疾病の要件を満たしている者も対象となり、これは難病法に規定する疾病を全て含むことから、障害福祉サービスの利用者は全て助成対象となる。市では、難治性の疾病により社会生活に何らかの支障を来たしているという点では、障がい者が抱える課題に通じるものであり、難病の方の雇用促進の取組は必要かつ重要な支援であると認識している。



特殊詐欺被害防止対策 ～見守りカメラの活用～

原　直輝 議員

問　特殊詐欺が発覚した場合、安全・安心見守りカメラがどのように活用されるのかを伺う。

答　犯罪が発生した際に警察から安全・安心見守りカメラの映像提供依頼を受け、該当するカメラの映像データを提供している。被害者と接触する手口による特殊詐欺では、受け子の特定に対して、リレー形式で逃走経路を把握できるなど、捜査の端緒となっていると警察から伺っており、犯人特定や犯罪抑止に大いに効果があると考えている。また、特殊詐欺に係る警察へのカメラ映像の提供件数も大幅に増えている。今後も、市民が悪質で巧妙な特殊詐欺に巻き込まれないよう、周知・啓発に取り組んでいく。



がん検診 ～受診率向上と普及啓発～

松浦　晴美 議員

問　各種がん検診の、①受診率向上に向けた取組は。②検診受診の必要性に関する普及啓発の取組は。

答　①検診受診を健康チャージポイント事業のポイント付与対象項目に含めてインセンティブを持たせることや、対象者限定ではあるが、子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポンの配付などの取組を継続しつつ、さらなる受診率向上に向け検討する。②健診べんり帳の配付、広報伊丹やホームページでの案内、SNSの活用等で、普及啓発に努めるとともに、健康フェアなどでも、リーフレットの配布や自己検診に使用する乳がんグローブの配布など、様々な機会を捉えて啓発に取り組んでいる。



病児・病後児保育事業

森　華奈子 議員

問　2施設（各2名定員の合計4名）で実施している病児・病後児保育について、ニーズとバランスを考慮して受入れ枠の増加を検討してはと考えるが、見解を伺う。

答　的確に利用者ニーズを把握し、必要な定員数が確保できているのかなどの検証が必要と考えている。本事業の周知方法について、改めて検討を行い、必要とされる方の利用促進を図るとともに、来年度策定予定の第3期市子ども・子育て支援事業計画の策定過程で、ニーズ調査の結果を分析する。また、定員数が多い他市の利用状況なども研究した上で、子ども・子育て審議会の意見を伺いながら、今後の必要定員数等を検討していく。



公共施設での夏休み自由プール

高橋　あこ 議員

問　夏休み期間中の公共施設での自由プールについて、①小学校ごとに生じた利用率の差を解消するための方策は。②低学年の利用率が低かったが、低学年でも利用できるようにするための方策は。

答　①市内4か所の公共施設から距離のある市東部や西部の校区からの参加者数が少なかったことから、今後、地域的な偏りについて対応策を検討していく。②学年による参加傾向の差は、保護者の送迎等に限らず様々な要因が考えられ、一概に原因を特定できないが、各施設では、学年にかかわらず安全に楽しめる態勢を整えており、今後も、多くの子どもたちが参加できるよう検討していく。



性的マイノリティーの対応 ～LGBT理解増進法※施行～

花田　康次郎 議員

問　生物学的な性差による女性スペースを守るため一定の線引きが必要と考えるが、見解は。

答　厚生労働省の技術的助言では、衛生等管理要領でいう男女とは、身体的特徴をもって判断するものとされており、市としても、自認する性別に基づく意思や行動は人権尊重の観点から尊重されるべきものであると考える一方で、生物学的な性差も存在し、一定の配慮が必要な場面が多々あるものと認識している。今後も国の動向に注視しつつ、多様な市民が地域社会の中で生き生きと暮らせるまちの実現に向け人権教育、啓発を推進していく。

※LGBT理解増進法…性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律の通称



学校におけるネットリテラシー※教育

土井　秀勝 議員

問　インターネットを利用した犯罪等の増加に伴い、必要不可欠であるネットリテラシー教育の課題は。

答　課題として、子どもを取り巻くデジタル環境が短期間に大きく変わり続けており、知識がすぐに古くなること、また、子どもに悪影響のある全ての有害情報等を遮断できていないことがある。今後、情報活用能力育成のため、情報技術を活用した問題の発見・解決の方法や、情報技術に関する制度・マナー、個人が果たす役割や責任、情報の真偽を吟味する力、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を子どもが身につけることを目指していく。

※ネットリテラシー…インターネットの情報や事象を正しく理解し、それを適切に判断・運用できる能力



市バス事業の意義

山薗　有理 議員

問　福祉、まちづくり、にぎわい、環境の観点から、本市に市バスがあることの意義について伺う。

答　市バス事業は、経済性の発揮と公共福祉の増進を経営の基本原則に、一般行政施策と連携して柔軟かつ効率的な事業を展開し、まちのにぎわい創出や魅力あるまちづくりに重要な役割を担い、選ばれるまちづくりに寄与している。しかし、地域公共交通を取り巻く環境は大変厳しい状況である。今後、本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、次世代型交通システムの動向等に注視し、市民、事業者、行政等、多様な主体との共創や連携強化等、本市のまちづくりと一体となった交通施策を推進していく。

・一般質問の発言順で掲載しています。

議案審査

令和5年第5回定例会では、**議案は46件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にⒶ～Ⓙとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

○令和5年度　一般会計補正予算（第6号） Ⓐ

1億8,551万4千円を追加補正

◆人と環境にやさしい昆陽池公園トイレの整備
・誰もが快適に利用できる、明るく安全なトイレに更新されます。
◆子育て支援の充実
・小学校1年生を対象に、「まちなかミマモルメ」の利用料が無償化されます。
・国民健康保険制度で出産をする方を対象に、産前産後期間の国民健康保険税が令和6年1月から免除されます。
◆各種システムの改修
・税務、住民基本台帳、障害福祉、介護保険に関するシステムについて、法改正等に対応するため、必要な改修が行われます。
◆指定管理者の再選定
・令和6年度からの市内17施設における指定管理運営委託料が設定されます。

○令和5年度　一般会計補正予算（第8号）

急遽、2億5,132万1千円を追加補正

◆公共料金等負担軽減事業
・全市民・事業者（官公庁を除く）を対象に、水道基本料金及び下水道基本使用料を、1期・2か月分（令和6年2月・3月徴収分）減免し、公共料金等の負担軽減が図られます。
例 一般家庭（口径20㎜）の場合（税込）　合計2,442円
◆保育施設等への一時支援金
・物価高騰等の影響を受けている社会福祉施設等の継続的・安定的なサービス提供を確保するため、民間の保育所・幼保認定こども園・地域型保育事業所・認可外保育施設への支援金が支給されます。
◆自動録音機能付電話機等購入補助事業
・高齢者を対象に、特殊詐欺被害防止に効果がある自動録音機能付電話機等の機器購入費が補助されます。
補助対象：65歳以上の高齢者
補助上限額：自動録音機能付電話機購入　10,000円
外付録音機購入　5,000円

その他の議案
○職員の高齢者部分休業に関する条例
○職員退職手当支給条例の一部改正
○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
○令和5年度　一般会計補正予算（第7号）
○令和5年度　国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
○令和5年度　後期高齢者医療事業特別会計補正予算
○令和5年度　介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

文教福祉常任委員会

○令和5年度　国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
○令和5年度　介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
○国民健康保険税条例の一部改正
○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
○地域福祉総合センターの指定管理者の指定
○サンシティホールの指定管理者の指定
○神津福祉センターの指定管理者の指定
○障害者福祉センター及び障害者デイサービスセンターの指定管理者の指定
○児童会館の指定管理者の指定 Ⓑ
○生涯学習センター及び図書館南分館の指定管理者の指定 Ⓒ
○伊丹スポーツセンターの指定管理者の指定
○緑ケ丘体育館・緑ケ丘武道館等の指定管理者の指定 Ⓓ
○ローラースケート場の指定管理者の指定
○稲野公園運動施設の指定管理者の指定
○図書館神津分館の指定管理者の指定 Ⓔ
○健康保険証の存続を求める意見書提出の件 Ⓕ
○学校給食に関する請願 Ⓖ
○独自に、教職員未配置解消の具体的な措置を講じることを求める請願書 Ⓗ

都市企業常任委員会

○駐車場条例の一部改正
○乗合自動車乗車料条例の一部改正 Ⓘ
○神津交流センターの指定管理者の指定
○市営斎場及び神津墓地合葬式墓地の指定管理者の指定
○観光物産ギャラリーの指定管理者の指定
○市営住宅等の指定管理者の指定 Ⓙ
○昆虫館の指定管理者の指定
○令和5年度　水道事業会計補正予算
○令和5年度　下水道事業会計補正予算

委員会付託なし

○選挙管理委員の選挙
○選挙管理委員補充員の選挙
○議会委員会条例の一部改正
○議会会議規則の一部改正
○（仮称）伊丹交流センター整備工事（建築工事）の請負契約
○救助工作車製造の請負契約
○（都）山田伊丹線（昆陽泉町工区）道路改良工事の請負契約の一部変更契約
○旧博物館解体工事の請負契約の一部変更契約
○固定資産評価審査委員会委員の選任

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第5回定例会の**議案46件**のうち**43件**は**可決・承認・決定**されましたが、**請願3件**は**不採択**となりました。

可決 承認 決定

議　案　40件
報　告　1件
選　挙　2件

不採択

請　願　3件

賛否の分かれた議案

Ⓐ令和5年度　一般会計補正予算（第6号）
Ⓑ児童会館の指定管理者の指定
Ⓒ生涯学習センター及び図書館南分館の指定管理者の指定
Ⓓ緑ケ丘体育館・緑ケ丘武道館等の指定管理者の指定
Ⓔ図書館神津分館の指定管理者の指定
Ⓕ健康保険証の存続を求める意見書提出の件
Ⓖ学校給食に関する請願
Ⓗ独自に、教職員未配置解消の具体的な措置を講じることを求める請願書
Ⓘ乗合自動車乗車料条例の一部改正
Ⓙ市営住宅等の指定管理者の指定

会派名 / 議員名	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	Ⓘ	Ⓙ
	可決	可決	可決	可決	可決	不採択	不採択	不採択	可決	可決
公明党										
北原　速男	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
篠原　光宏	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
竹村　和人（副議長）	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
永松　敏彦	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
松浦　晴美	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
前田伸一郎	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
新政会										
泊　照彦	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
加藤　光博	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
杉　一	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
戸田　龍起（議長）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土井　秀勝	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
花田康次郎	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
伊丹維新の会										
齊藤　真治（監査委員）	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
大江　広人	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
森　華奈子	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
鈴木　隆広	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
原　直輝	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
フォーラム伊丹										
保田　憲司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山薗　有理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大津留　求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋　あこ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
創政会										
川井田清香	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
鈴木久美子	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
新内　善雄	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
日本共産党伊丹市議会議員団										
服部　好廣	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
加柴　扶美	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
会派に属さない議員										
高塚　伴子	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

○…賛成　×…反対　—…議長は表決に加わりません。

人事

12月定例会において、次の方々に決定・同意しました。(敬称略)

▽選挙管理委員　橋本寿美枝　増井　宏基
　大路　周宏　今村　七美
▽選挙管理委員補充員　田中　清隆　池本　直子
　田中　裕士　多田　麻理
▽固定資産評価審査委員会委員　廣嶋　琢也

委員会の視察・要望報告

議会運営委員会

(11/7)　山形県 天童市
「議会運営・議会改革」

(11/8)　山形県 東根市
「議会運営・議会改革」


天童市

飛行場問題対策特別委員会

(11/14) 国土交通省(要望活動)

(11/15) 福岡県 福岡市
「福岡空港の空港運営」


福岡市

市立伊丹病院検討特別委員会

(11/15) 慶應義塾大学病院
「AIホスピタル事業」

(11/16) 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
「AIホスピタル事業」


慶應義塾大学病院

議会改革検討特別委員会

(11/16) 愛知県 半田市
「議会改革及び議会報告会の取組」

(11/17) 三重県 四日市市
「反問権の実施及び議会改革の取組」


半田市

※詳細は、市議会ホームページでご覧いただけます。

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14	15	16	17
		議会運営委員会		第1回定例会 本会議招集日 議員総会		
18	19	20	21	22	23	24
		議会運営委員会 本会議第2日 議案質疑	本会議第3日	総務政策常任委員会		
25	26	27	28	29	3/1	2
	文教福祉常任委員会	都市企業常任委員会		本会議第4日 代表質問	本会議第5日 代表質問	
3	4	5	6	7	8	9
	本会議第6日 個人質問	本会議第7日 個人質問	議会運営委員会 本会議第8日 個人質問等 予算等審査特別委員会		予算等審査特別委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	予算等審査特別委員会	予算等審査特別委員会	予算等審査特別委員会	予算等審査特別委員会	予算等審査特別委員会	
17	18	19	20	21	22	23
				予算等審査特別委員会		
24	25	26	27	28	29	30
		議会運営委員会 本会議最終日 議員総会				

市議会からのお知らせ

♪議場コンサート♪


昨年のコンサートの様子

議場で伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団によるコンサートを開催します。その後、市長の施政方針を予定しています。

●日時:2月21日(水)午前10時～(約20分)
●場所:市議会本会議場
●受付:当日、市議会事務局(市役所3階)へ。
　議場への入場は73名まで。先着順。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221　FAX072-780-2897

【訂正】

令和5年11月21日発行の伊丹市議会だより249号において、表紙の写真の説明に「旧岡田家住宅」とあるのは「旧石橋家住宅」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行:伊丹市議会事務局議事課　〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地 (市役所3階)
☎072-780-4090　FAX072-784-8092　HP http://www.city.itami.lg.jp/
伊丹市議会だよりは 86,100部作成し、印刷費は 1 部あたり 7.98円です。